

教育支援 クリニカルリーダー

		レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
		基本的な看護手順に従い、 必要に応じ助言を得て安全な看護実践をする	標準的な看護計画に基づき 自立して 看護を実践する	個別的な看護 の実践をする	複雑な状況 において、幅広い視野で予測的判断をもち、適切な手段を選択して看護を実践する
到達目標	要素	<ol style="list-style-type: none"> 看護の基本的知識・技術・態度を習得し、安全で確実な看護ケアが実践できる チームメンバーとしての役割と責任を果たすことができる 自己学習の方法が分かり、実践できる 看護研究に参加する 	<ol style="list-style-type: none"> 看護過程を踏まえ、受け持ち患者の個別的ケアが実践できる 日々の看護業務においてリーダーシップがとれる 所属部署や部門活動に参加する グループ研究でリーダーの役割ができ、その学びを看護実践に活かす 	<ol style="list-style-type: none"> 部署内において看護実践の役割モデルとなる 様々な場面での状況判断ができリーダーシップを発揮することができる 所属部署内の活動や委員会活動等与えられた役割を十分発揮する 自己の学習活動に主体的に取り組み、他者に指導的・教育的に関わる グループ研究でリーダーの役割ができ、その学びを看護実践に活かす 	<ol style="list-style-type: none"> 看護の専門性を発揮できる 複雑な場面でリーダーシップを発揮することができる 部門内の変革や事業推進への役割等病院組織への貢献ができる マネジメント能力が備わる 自己のキャリア開発に向けて計画的に取り組むことができる
看護実践能力	情報収集	<ol style="list-style-type: none"> 受け持ち患者について形式に沿った情報収集ができる 電子カルテの操作ができる 客観的データや身体上の変化を観察し報告できる 	<ol style="list-style-type: none"> 患者の全体像をとらえられるような情報収集ができる 受け持ち患者の状況を判断し、意識的に情報収集ができる 	<ol style="list-style-type: none"> 患者が不安や心配を表出できるように配慮しながら情報収集ができる 患者を取り巻く社会問題について意識的に情報収集ができる 他職種からも積極的に情報を得ることができる 	<ol style="list-style-type: none"> 主体的、客観的、また意図的、計画的に情報収集し、患者の全体像を明らかにすることができる 状況によって必要な情報を判断し、焦点を絞った情報収集を心掛けている
	看護計画	<ol style="list-style-type: none"> 指導を受けながら看護上の問題点を挙げるができる 指導を受けながら看護計画を立てることができる 指導を受けながら看護計画を評価・修正ができる 	<ol style="list-style-type: none"> 情報に基づいてアセスメントし、看護上の問題点を明らかにすることができる 看護上の問題点をチームで共有できる 患者・家族と共に実践可能な看護計画を立案し、長期目標・短期目標が設定できる 	<ol style="list-style-type: none"> 優先度を考え、看護上の問題点に即した計画立案できる 潜在している問題や予測できる問題について看護計画をたてることできる 	<ol style="list-style-type: none"> 収集した情報を分析し、優先度を判断した看護上の問題点の抽出や看護計画に関連したことを、オーデット・指導監督する役割がはたすことできる
	ケアの実践 看護記録 急変時の対応	<ol style="list-style-type: none"> 受け持ち患者の看護計画に基づいたケアが実践できる 看護基準・手順に沿って、正確かつ安全は看護ケアが実践できる 患者・家族の言動や表情から看護ケアに対する反応を観察し報告できる 指導を受けながら看護実践の記録ができる 	<ol style="list-style-type: none"> 優先度を考え時間内に看護ケアが実践できる 患者の症状と反応を観察し、異常について報告・対処ができる 受け持ち患者の生活指導ができる 実践した看護ケアに対する患者の反応や変化を適切にとらえた記録ができる 緊急事態にチームで対応できる 	<ol style="list-style-type: none"> 熟練した看護技術を用いた看護ケアが実践でき、他のメンバーに指導できる 人的資源などを活用することで個別的な看護ケアを高めることができる 患者の状況と看護ケアの内容が読み取れるような記録ができる 緊急事態・非常事態を予測し対応できる 患者・家族に対し共感的理解ができる 	<ol style="list-style-type: none"> 看護実践を行う看護職員の人的資源の調整ができる 患者・家族に共感的理解を示し、良い人間関係をつくることできる 医療チームの協体制の確立、カンファレンスなど、多様なアプローチを組み入れて看護ケアが実践できることを調整できる 緊急事態・非常事態を予測し備えることできる 緊急事態にリーダーシップを発揮し対応できる
	意思決定 看取り	<ol style="list-style-type: none"> 緊急時に指示を受けて行動できる 助言を受けながら患者や家族の思いや考えを知る不安を察する、寄り添うことできる 	<ol style="list-style-type: none"> 患者や家族に対し、共感しようと努力することできる 患者や家族の思いや考えを意図的に確認し、ケアに反映できるようチームへ提案する 	<ol style="list-style-type: none"> 患者や家族が行う意思決定に必要な情報を多職種と共に提供する 患者と医療者の意向の違いやずれを理解し、他職種に伝える 患者や家族の意思決定プロセスを支援する 繰り返し揺らぐ患者家族の思いに寄り添い、適切な看護ケアを実践する 	<ol style="list-style-type: none"> 意図的に医療チームを動かし、患者や家族の意思決定プロセスを支援するための調性的役割を担うことできる
評価	<ol style="list-style-type: none"> 患者に行った看護ケアの結果を報告できる 指導を受けながら、看護ケアの妥当性について評価できる 	<ol style="list-style-type: none"> 実践した看護ケアに対する患者の反応を踏まえた評価ができる 	<ol style="list-style-type: none"> 実践した看護ケアが適切であったかどうか評価し、チームメンバーに伝達できる 	<ol style="list-style-type: none"> 各部署における日常の看護ケアについて質的・量的側面から評価・考察し、フィードバックできる 期待される成果の到達度が判断できる(問題がどのように変化したか) 今後の方向性を明らかにしフィードバックできる 	
マネ協 働メ する ト力 能・ 力	<ol style="list-style-type: none"> チームメンバーの役割が理解できる 業務の優先度が分かり、一日の行動計画を立てることができる 所属部署の特殊性と業務内容について説明できる 看護実践するために同僚や上司の支援を求められることできる 部署目標を知り、その達成のために活動に参加する 部署内のカンファレンスや会議に参加する 危険予知とレーニングを実践に活かすことできる 部署内の環境・物品について不備、不足などを報告できる 手順を遵守して安全な医療の提供ができる 標準予防策が遵守できる あらゆる看護業務の経済的側面に注意を払うことできる 物品の使い過ぎ、コスト請求漏れがない 災害時対策について指導を受けながら実施できる(通報、患者誘導、非常持ち出し品、火元点検、初期消火) 	<ol style="list-style-type: none"> 部署のカンファレンスや会議に参加し意見交換ができる 部署内の環境・物品に配慮することできる 部署内の委員会活動等に参加し活動できる 指示された範囲内で、リーダー役割の一部を遂行できる 勤務中に生じた緊急・災害時に支援を受けながら対処できる 受け持ち患者を通し、助言を得ながら必要な医療チームとの連携がとれる チームの一員として他職種との協働に積極的に参加する 日勤業務・夜勤業務の責任者(リーダー)の役割ができる 標準予防策が遵守できる 	<ol style="list-style-type: none"> 部署内の患者状況、患者の状態に注意を払うことできる 部署内のメンバーの状況に注意を払うことできる 部署内目標達成のための活動を推進する 部署内で提供される看護の質の評価に参加できる 業務改善などについて創造的な意見を述べることできる 患者カンファレンスの計画を立案し、医療チームと協調しながら連携がとれる 部署内の物品管理ができる 日勤業務・夜勤業務の責任者(リーダー)の役割を指導することできる 部署内の安全管理、感染予防に配慮し、整備することできる 勤務中に生じた緊急・災害時に対処できる チームで協働し、時間的配分や業務調整を行うことできる 院内委員会や看護部の委員会活動のメンバーの一員として積極的に活動推進をする 	<ol style="list-style-type: none"> 所属部署や部門の組織活性化を図るための提案や活動を推進することできる 看護管理上の問題発見や解決方法を上司とともに考え、行動できる(患者ケア、チームメンバーの育成、部署の運営、他部門との連携) 地域の関連機関(医療・福祉・行政)と連携がとれる 医療チームと協調しながら連携がとれる 緊急時・災害時にリーダーシップが発揮できる 所属部署や部門の組織活性化を図るための提案や活動を推進することできる 業務の効率化や費用対効果などの意識をもち運営に協力する 看護管理に関する研修を受講している 師長・主任不在時の代行業務ができる 	
人を 育てる 力	<ol style="list-style-type: none"> 自己啓発 院内研修 院外研修 サポートナース 実習指導 看護研究 	<ol style="list-style-type: none"> 必須である院内教育計画に参加する 未達成項目の学習満了のための計画に参加する 経験未熟なメンバーに対して、必要な知識・技術を習得するように支援ができる サポートナースの役割ができる 参加した研修の報告書を期限内に提出でき、伝達報告ができる チーム研究に関心をもちチームの一員として、割り当てられた研究の一部を行う 	<ol style="list-style-type: none"> 必須である院内教育計画に参加する 専門職としての能力開発のためのプログラムを探し、主体的に参加する 部署内の教育計画に積極的に参加することできる 看護実践に関して後輩看護師のサポートナースの役割や、実習生などの指導ができる 看護研究を行うスタッフにアドバイスすることできる 	<ol style="list-style-type: none"> 自身の専門職としての能力開発のために院外研修に参加し、その結果を有効に実践活用できる 部署の勉強会運営、新入者指導プログラムを計画し、実施できる 患者ケア、メンバー育成、所属部署運営、他部署との連携に関して全体の推進ができる 看護実践に関して後輩看護師のサポートナースの役割や、実習生などの指導が自らもでき、さらには他者の指導もできる 看護研究をすすめて、院内外に広めることできる 看護研究を臨床で応用できる 	